

# 群馬県感染症発生動向調査情報 (官庁連絡会議資料 2022年10月号)

## ● 新型コロナウイルス感染症 (2022年9月27日 9:00現在 暫定値)

※群馬県のデータベースをもとに検査確定例のみ集計しています。HER-SYSデータを確認後、修正することがあります。

### 【2022年第38週 (～9月25日まで)】

2022年第38週の新型コロナウイルス感染症 (検査確定例) の報告は5,680例で、第37週 (7,921例) から減少しました。調査開始 (2020年) 以降の累計報告数は233,060例です。

### 【9月 (～25日まで)】

報告数は27,764名で、8月の報告数71,127名から大きく減少しました。届出保健所別では、前橋市が最も多く5,210名 (19%)、次いで高崎市4,775名 (17%)、伊勢崎4,176名 (15%)、太田4,047名 (15%) でした。

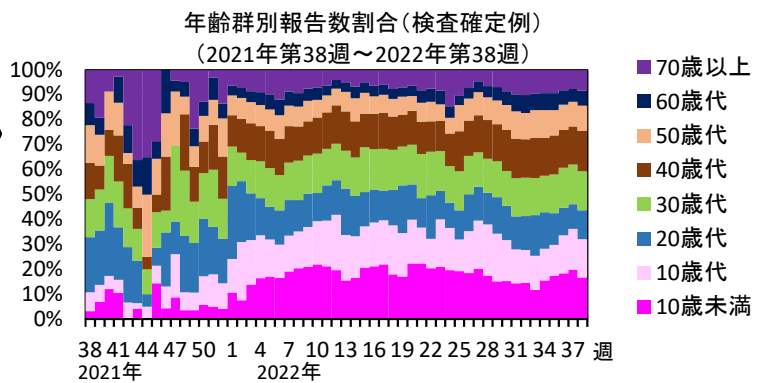
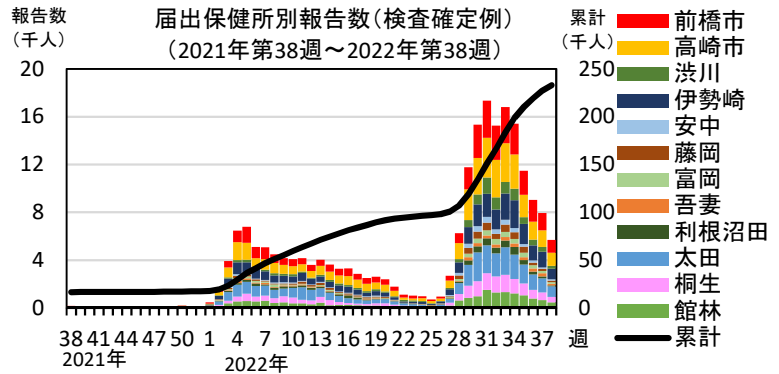
### 《参考：患者発生状況 (9月26日公表)》

県内患者発生数※ : 233,720名

死亡者数 : 463名

国内患者発生数 (感染者：厚労省発表)  
21,067,544名

※令和4年1月24日厚労省通知による疑似症患者を含む



## 2022年9月26日 (第39週) から発生届の対象が変更されました。

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について」  
令和4年9月22日付け健発0922第3号 厚生労働省健康局長通知

### 【発生届対象者】

- ・65歳以上の者
- ・入院を要する者
- ・重症化リスクがあり、かつ、次のいずれかに該当する者  
新型コロナウイルス治療薬の投与が必要、新型コロナウイルス罹患により新たに酸素投与が必要
- ・妊婦

### ※発生届の対象とならない感染者については、年代別の総数のみの報告となります。

「Withコロナの新たな段階への移行に向けた全数届出の見直しについて」  
令和4年9月12日付け (令和4年9月20日最終改正) 厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策本部事務連絡

### 【全数把握の継続及び集計・公表の対象】

- ・法第12条に基づく発生届の提出の有無にかかわらず、医療機関で新型コロナウイルス感染症と診断された者
- ・医療機関を受診せず自己検査の結果をもって健康フォローアップセンターに登録された者

群馬県感染症発生動向調査では、第39週以降は法第12条に基づく発生届をHER-SYSデータにより集計予定です。

\*この情報に関するお問い合わせ先：群馬県感染制御センター (群馬県衛生環境研究所)  
TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigyo-c@pref.gunma.lg.jp

## ●新型コロナウイルス SARS-CoV-2 ゲノム解析について (Vol.24)

### 新型コロナウイルスゲノム解析結果(2022年第35週(8月29日～9月4日)まで)

デルタ株が2021年第19週(5月10日～16日)に初めて検出され、第29週(7月19日～25日)以降、AY.29が流行となりました。県内では、第48週(11月29日～12月5日)以降、デルタ株の再流行がありましたが、オミクロン株が第50週(12月13日～19日)に初めて検出され、2022年第1週(1月3日～9日)以降、BA.1が主な流行となりました。

第2週(1月10日～16日)に渡航歴のある患者からBA.2も検出されましたが、その後の拡大はみられていませんでした。2022年第9週(2月28日～3月6日)以降、BA.2の検出が増加し、主な流行となりました。第25週(6月20日～26日)以降、新たにBA.5が検出され、第30週(7月25日～31日)にBA.4が検出されましたが、現在BA.5による流行となりました。今後もゲノム解析による流行の把握が重要と思われれます。

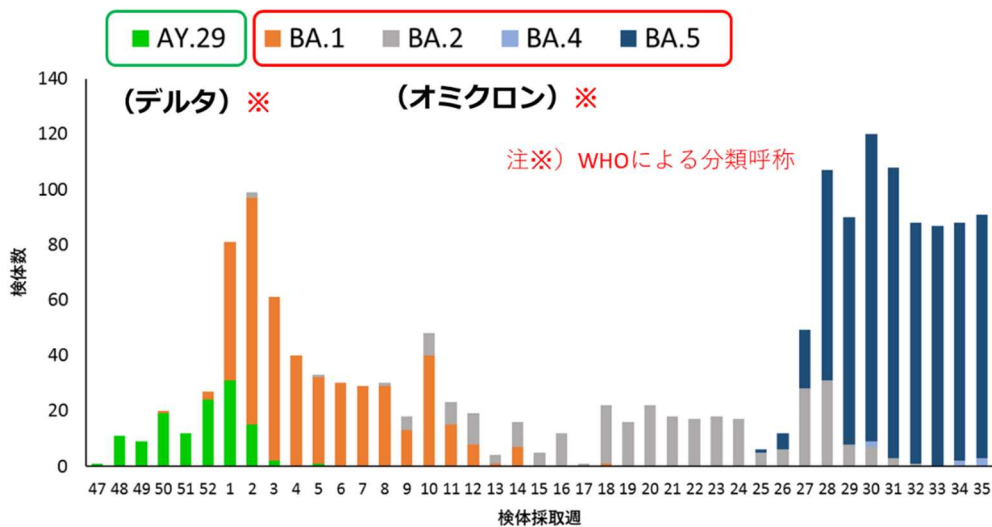


図1 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析(検体数)【群馬県衛生環境研究所実施分】

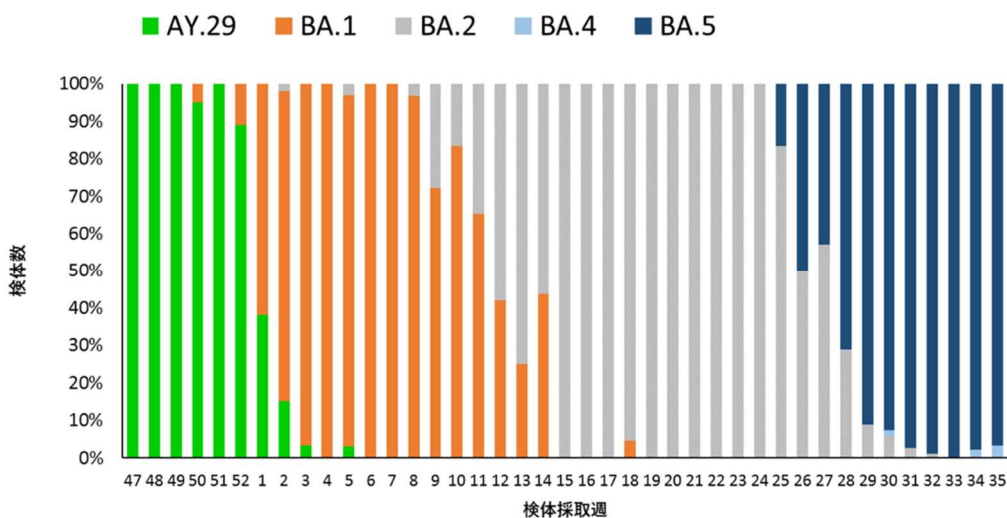


図2 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析(割合%)【群馬県衛生環境研究所実施分】